

# 令和8年度 第 1 回防府市部活動改革推進協議会 議事録概要

令和8年 7月29日(水)10:00~11:30

於：防府市文化センター(市役所本館 8 階)

## 1 開 会

教育長あいさつ

少子化の中、将来にわたり子ども達がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる環境を確保するため、地域全体で支える仕組みづくりが求められている。

本日の協議会では、活動状況や課題を共有し、今後の安定的な運営や関係団体との連携の在り方について、ご意見をいただき、より良い活動環境づくりにつなげたいと考えている。

## 2 委員紹介 別紙参照

## 3 議 事

### (1) 県所管説明

#### ○山口県観光スポーツ文化部 スポーツ推進課

- ・山口県の中学生の人口は、ピーク時の26%まで減少。1つの学校で活動が厳しい状態。
- ・国のガイドラインでは、認定制度が始まり、教育的意義を継承・発展させるクラブを認定することになる。
- ・認定のポイントとして、低廉な活動費、指導者の不適切行為の防止などがある。

#### ○山口県教育庁義務教育課

- ・国のガイドラインを受け、県でも作成中。改革の理念として、生徒の豊かで、幅広い活動機会を保障すること。地域クラブ活動の実施に当たり、学校施設の活用、指導者の兼職兼業、学校との連携を図ること。
- ・学校との連携については、認定要件にもあげられており、運営団体・実施主体と学校の連携がガイドラインに示されている。
- ・地域クラブ活動は、学校外の活動ではあるが、学校を含めた地域全体で、生徒の望ましい成長を保障するものである。

### (2) 地域クラブの現状報告(クラブ管理事務局)

#### ○地域クラブへの入会状況

- ・3つのエリアに分けて、それぞれの種目を設置するように考えていたが、充分ではない。各種目3クラブずつあると良い。しかし、指導者がいないのが防府市の課題。
- ・スポーツ系クラブに1,203人、文化系クラブに288人で、中学生全体の51.3%が地域クラブに加入している。(7/3現在)

#### ○地域クラブ送迎バスの運行

- ・生徒の移動に関する負担軽減のために5月25日からマイクロバス3台で、送迎支援開始。
- ・29人乗りのバス3台で、生徒92名の生徒を送迎している。(7/3現在)
- ・防府市地域クラブ送迎バス運転手マニュアルを作成し、安全管理に努めている。
- ・乗降管理システムを導入し、生徒の乗車状況が瞬時に保護者のスマホへ伝えられる。

#### ○今年度の支援

- ・国の支援としては、地域クラブへの活動費支援として運営の赤字部分に対して支援する制度と、経済的困窮世帯の生徒へ月会費(上限3,000円)および保険料(上限800円)の支援がある。
- ・防府市の支援は、公共交通機関利用の全額補助とマイクロバスでの送迎の移動支援を行う。スタートアップ支援、指導者資格取得支援は、今年度で終了予定。

#### ○防府市の抱える課題

- ・指導者の確保。人材不足と指導者の高齢化。
- ・学校との連携。教職員の地域クラブへの理解と、学校を含めた地域で育てるという意識が希薄。
- ・持続可能なしくみ作り。地域クラブへの支援を今後どのようにしていくのか。

### (3)地域クラブ団体(スポーツ、文化)の意見

- ・入会申込を市が一括管理しているが、各クラブに任せることはできないか？  
→ 登録方法について検討。
- ・マイクロバスの運用について、防府駅を通るコースは検討してもらえないか？ 指導者の高齢化が進んでいるので、現役の教員や保護者が活動の様子を見学することで関心をもっていただきたい。  
→ マイクロバスの運用については、年度ごとにコースの見直しを行う予定。
- ・マイクロバスに乗れるかどうかの案内を、もう少し早めにできないのか。  
→ 令和8年度は5月スタートだったので遅くなったが、令和9年度は4月1日から利用できるように、早めに案内する予定。
- ・美術クラブも高齢化している。連盟にも声かけをしていく。活動内容も発信していきたい。
- ・指導者の仕事の関係もあり活動時間を5時から6時半としている。地域の指導者に開始時間をあわせると6時になり活動時間が削られる。現役の教員は、指導が終わり学校に戻って仕事をしている状況である。
- ・国や防府市から支援いただき活動できていることに感謝。引き続き支援をお願いしたい。
- ・時給を明確にしないと指導者が集まらない。ボランティアでは難しい。
- ・吹奏楽は、3つのクラブがそれぞれの取り組み方で成果を上げている。生徒が減っている状況で、どのクラブに所属してもよいというのは、良い部分と悪い部分がある。
- ・問題が起こったときの責任の所在はどこにあるのか？ ボランティアで指導する時代ではない。人材を育てるのは、戦略が必要。県や行政が戦略をもって長い目で育てて欲しい。

### 4 その他(情報交換)

- ・教育委員会のやることではなく、防府市がまちづくりの観点で行う事業ではないか。大人の取組を子どもに見せ、子どもの意見も聞くと良い。教職員の意識はどうか？ 地域の中の学校として教員も力を貸して欲しい。  
→ 学校の教員は、年配の先生は部活動がなくなったから、それを補う工夫をするが、若い先生方は、後ろ向きに感じられる。文化系は教科の先生も少ないため、人材自体いない。  
→ 部活動はないが、防府市には地域クラブがある。先生がではなく、先生もという気持ちで地域の方と一緒に関わることが重要。指導者の問題は、時間を下げるなど地域の方が参加しやすい環境を市全体で考えていく必要がある。
- ・教員と地域の方が手を携えて子どもを育成することが重要。参加したくても参加できない生徒がいない環境を整えてもらいたい。
- ・文化クラブの方は、発表の場がないと言われている。アスピラートの1F ギャラリーでは、様々な活動を行っている。子どもたちのためになればと学校関係や地域クラブと連携していきたい。
- ・小学校の高学年に各クラブの実績や活動方針を PR して欲しい。謝金について、スポーツ少年団の指導は無償なので、その整合性の問題が出てくると思う。それと、子どもたちは先生に褒められるとやはり喜ぶと思うので、今後も先生たちに関わってほしい。
- ・クラブの紹介資料について、目的や方針が明記してあると、子どもたちも入会しやすいと思う。マイクロバスについては、運行コースを細分化して家の近くに来るようにしたり、バスの台数を増やしたりすれば、より活用しやすくなると思う。
- ・小学校の吹奏楽も地域移行を考えてもらいたい。3年後は厳しくなる。指導者の熱意や保護者の理解によって支えられているのが現状。早く手を打たないと衰退していく。
- ・中学校の校長の立場として、指導者の派遣は難しいが、市の立ち上げたクラブであるから場所、備品等の協力はできる。教員は、関係を切らすことなく協力する意識をもたせたい。

## 5 閉 会

- ・中学生が活動できるのは地域クラブだけでなく、公民館活動もある。活動場所を増やし、選択できる環境を作る。本日の課題を関係各課で情報共有し、地域クラブ活動の推進につなげていきたい。